



11月25日より  
スタート!

日建連では、昨年に引き続き、日建連表彰PRコンテンツ「けんせつのチカラ」を制作しました。この動画は、俳優の高橋克典さんが「けんせつ特派員」として日建連表彰2022の受賞案件を訪ね、プロジェクトにかかわった方々のお話を伺いながら紹介するものです。YouTubeの日建連公式チャンネルにて、11月25日から公開します。

日建連表彰第3回土木賞、第63回BCS賞それぞれの受賞案件から4つのプロジェクトを訪ねました。今年には島根県松江市の「千本ダム」にも足を運び、建設後100年が経過したダムの補強工事取材しました。皆様ぜひご覧ください。

YouTube  
日建連チャンネル  
にて  
全4話  
一挙公開!!

けんせつ特派員  
高橋克典さん

日建連表彰  
2022レポート

特設ページへ



# けんせつのチカラ

## 高橋克典さんインタビュー

今年も「けんせつ特派員」として日建連表彰の受賞案件を取材していただきました。

（高橋氏）昨年「けんせつ特派員」を拝命し、初めて日建連表彰受賞プロジェクトにお伺いしたのですが、どのプロジェクトも携わった方々の思い入れや誇りを感じる事ができました。また、あちこちに皆さんの努力や技術力、そしてご苦労があり、本当に楽しく学ばせていただきました。今年も引き続き日建連表彰のPR役を務めさせていただきます。光栄です。

建設業界の印象は変わりましたか？

昨年、表彰式に参加させていただいた時にもお話しましたが、私がかつて建設会社の社員の役を演じたこともあり、日本の建設の技術力を紹介する番組のMCも務めており、何かと建設業界にご縁があるなと思っています。昨年の取材の経験からか、それまでは普段の生活のなかであまり実感することがなかった素晴らしいプロジェクトが目が行くようになり、ここでもものづくりを担当する施工者だけでなく、発注者や設計者など関係する皆さんの想いが一つになっているんだなと感じるようになり、移動時などに建設現場を見かけると、思わず見入ってしまうほどです。

### 高橋克典（たかはしかつのり）

俳優・歌手。1964年12月15日生まれ、神奈川県横浜市出身。O型。1993年にシングル「抱きしめたい」で歌手デビュー。同年7月に日本テレビ系ドラマ「ポケベルが鳴らなくて」に出演。以降、俳優として数多くの映画やテレビドラマで活躍。代表作はTBS系ドラマ『サラリーマン金太郎』、テレビ朝日系ドラマ『特命係長 只野仁』など。

「日建連表彰」という建設業界の表彰をどのように思われますか？

六〇年以上の歴史を誇るBCS賞と、三年目となる土木賞。総合建設業の建築分野と土木分野を代表するこの二つが一体となった日建連表彰には、とても意味があると感じています。

日本の建設業を支えている関係者の皆さんに今回もたくさんお目にかかったのですが、様々な側面から尽力されていて、興味深いお話をいろいろと聞くことができました。そうやって皆さんが大切につないでこられたバトンをしっかりと受け止めて、PRに貢献できたらと思っています。

今年の取材は  
いかがでしたか？

今回は「銀座線渋谷駅」、「国立競技場」、「東京大学総合図書館」、更には島根県の「千本ダム」まで足を延ばしました。いずれも、皆さんから人々の暮らしになくて

はならないもの、より豊かにするものをつくっているという誇りと感慨を感じました。

「けんせつ特派員」への  
意気込みを教えてください。

どのプロジェクトも、昨年引き続き、とても楽しく、また興味深く取材させていただきました。普段では入れない場所にお伺いして学ぶことができたり、説明いただきなければわからなかった工夫が多くあったりと、驚きの連続でした。

「けんせつ特派員」として皆さんにお伝えしたい建設業の役割や魅力が次から次に出てくるので、きつとこの番組を見ていただいた後は、どのプロジェクトも感じ方が違うはず。ぜひこの「けんせつ」のチカラで日建連表彰二〇二二をご覧いただきたいです。そしてこれからも、日建連表彰はもちろん、日建連や建設業界全体のイメージアップに貢献していきたいと考えています。

皆さん、一緒にがんばっていきましょう！

## #1 「千本ダム 耐震補強改修プロジェクト」



堤体自体の重さで水圧を受け止める構造物であるダム。その概念を覆す「アンカー工法」で補強が行われた千本ダム。100年以上前につくられたダムとして、登録有形文化財にも指定されている歴史的建造物を国内初の工法で補強したプロジェクト。松江市の水道用水の約1/4を供給する重要な施設の耐震補強工事への挑戦を追う。



**POINT**  
松江市の上山市長の歴史的建造物への熱い想いと、耐震補強改修の経緯を聞く!!

## #2 「東京メトロ銀座線 渋谷駅移設工事」



1938年に開業して以来、ほとんど改修が行われていない状況だったうえ、構内にトイレがないなどの課題も多かった東京メトロ銀座線・渋谷駅。改修するには、狭隘な立地条件の下、ホームの移設、主要道路への近接、土木と建築、更には軌道、電気、設備、信号などの様々な関係者との調整が必要。3次元モデルの共有により限られた時間で数々の課題をブレイクスルー。



**POINT**  
池田所長の3次元モデルへの思い入れを取材! 発注者とともに新手法に挑戦したストーリー!!

## #3 「東京大学 総合図書館」



歴史に残る建造物を後世に受け継ぎ、耐震改修と収蔵図書量の増加への対応が工事の目的。100年近く前に建てられた図書館を、内田祥三先生の原設計の思想を継承しつつ、噴水の下に地下書庫を新設し、21世紀の図書館として機能させることに成功したプロジェクト。



**POINT**  
歴史的ルーツを随所に残しつつ、建築では珍しい「ニューマチックケーソン工法」の活用などにより、新たな“知の拠点”を誕生させた関係者の想いをレポート!!

## #4 「国立競技場」



1964年の東京オリンピックで使われた国立競技場の記憶を残しつつ、各所に木の集成材を採用して、自然環境と調和する「やさしいスタジアム」。最先端の機能を備えつつ、「軒庇」には全国47都道府県の木材を使用。設計チームの想いの詰まった「呼吸するスタジアム」「杜のスタジアム」とそれを施工するマネジメント力に迫る。



**POINT**  
実際にトラックを歩きながら、施設的设计、建設エピソードを取材。2021年に開催された東京オリンピックの顔ともいえるこの施設を紹介!!